

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 12 月 5 日作成)

小委員会名	電磁環境計測法検討小委員会	主 査 名：三枝 健二 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：川瀬 隆治
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の電磁環境に関する各種計測法及び評価法の確立と標準化 2015 年度：3 つの主テーマを掲げ、それぞれ検討を行う。 ① 到来波を用いた電磁シールド性能測定方法の学会規準化の推進 ② 電磁波ノイズ測定法の学会規準化の推進 ③ 電磁シールドルームの空間性能評価法の検討 2016 年度：3 つの主テーマについて検討を行う。①については、測定法そのもの のおよび適用範囲について検討を行う。②については、規準案を作成 する。③については、情報収集と分析を行う。 2017 年度：3 つの主テーマについて検討を行う。①について、規準案を作成する。 ②については、規準案の完成を目指す。③については、引き続き情報 収集と分析を行う。 2018 年度：2 つの主テーマについて検討を行う。①については、引き続き規準案 を作成する。③については、評価法そのものおよび適用範囲の検討を 行う。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：三枝健二 (日本大学)，幹事：笠井泰彰 (大林組)，委員：宇治川 智 (鹿島建設)， 木村健一 (フジタ)，黒岩雄二 (国土交通省)，國分 誠 (清水建設)，志田浩義 (トーキン EMCエンジニアリング)，鶴田壯広 (竹中工務店)，西村俊哉 (日本板硝子環境アメニテ イ)，藤岡友美 (大成建設)，堀之内 淳 (電磁環境研究室)，峯松育弥 (KEC 関西電子工 業振興センター)，吉野涼二 (環境調査事務所)，渡辺拓人 (東急建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2016 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 到来波を用いた電磁シールド性能測定方法の学会規準化の推進 電磁環境研究発表会で討議を行うなど、測定法の適用範囲について検討 を行った。 2. 電磁波ノイズ測定法の学会規準化の推進 WD 作成を目指して、現状測定法の問題点を抽出した。 3. 電磁シールドルームの空間性能評価法の学会規準化の推進 規準化には解析による検討が必須であるため、解析の有効性の検討を行 った。これらの内容を大会にて発表した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	無

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 10px;">A</span> <span style="padding: 2px 10px;">B</span> <span style="padding: 2px 10px;">C</span> <span style="padding: 2px 10px;">D</span>
<b>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</b>	<p style="text-align: center;">目的の③に関して、本小委員会よりその成果を日本建築学会大会にて 2 件発表した。</p> <p>(1) 笠井泰彰, 三枝健二, “電磁シールド室の空間性能評価に向けた取り組み (その 3 基準値測定におけるアンテナ指向性影響の数値的検討)”, 日本建築学会大会, No.40297, 2016.8</p> <p>(2) 三枝健二, 笠井泰彰, 吉野涼二, “電磁シールド室の空間性能評価に向けた取り組み (その 4 空間性能値の解釈の検討)”, 日本建築学会大会, No.40298, 2016.8</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。